



3M スコッチカル ペイントフィルム

従来のフィルムでは施工が難しかった凹凸面に貼り付け可能なフィルム

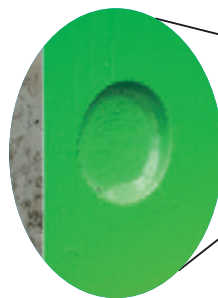
ペイントフィルムは特殊アクリルフィルムに溶剤系インクジェット等で印刷し、粗面への接着を可能にしたグラフィックシートです。

主な特徴

FEATURE

- 高い柔軟性
- 凹凸面への追従が可能
- ※凹凸が激しく、表面が鋭利な場合、材料が破れる可能性があります。
- ゴムなどの弾性下地への貼り付けが可能
- 加熱の必要がなく、圧着のみで施工が可能
- 高い隠蔽性を保有

上記の特徴を有してしており、従来ペイントでしか対応出来なかった、表面が平滑ではないコンクリートやレンガの壁面、微細な凹凸をもつスタッコ塗装面などに対し、インクジェット等のグラフィカルな表現を可能にした画期的なシートです。また、中長期にわたり、画像を壁面に表示させるためのフィルムと、短期1年程度で、糊残りを少なく剥がす事が出来る2種類のフィルムを用意しており、新しい広告媒体の可能性をもたらすものです。

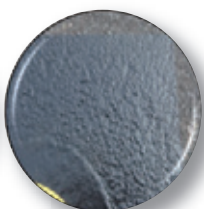


コンクリート壁面の凹凸部分に対して打設痕の凹部に追従します。

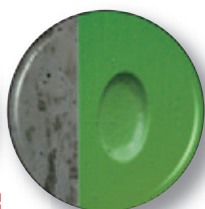
現場の状況により、プライマーの塗布など下地処理が必要な場合がございます。ただし、下地処理をすることによって、施工後剥離しにくくなることもございます。



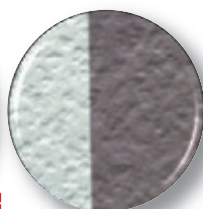
高い柔軟性



加熱の必要がなく、
圧着のみで
施工が可能



凹凸面への
追従が可能



高隠蔽性を保有



再剥離機能
(再剥離性材料使用時)



自由なデザインでの
輪郭カット

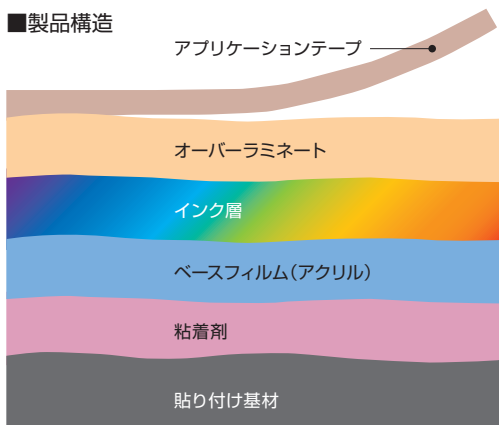
高い機能と技術に支えられた新しい素材

※ペイントフィルムをカットする場合は150mm以上の大きさが目安となります。

■印字・施工手順

- ①ベースフィルムに溶剤系インクジェットで出力を行います。
- ②表面が空気に触れる状態で十分に乾燥(48時間程度)させます。
- ③専用アプリ付きラミネートフィルムを出力にかけます。
- ④通常のインクジェットを貼るのと同じように壁面にスキージもしくはリベットブラシで、出力を貼り込みます。
- ⑤アプリケーションテープを剥がします。
- ⑥リベットブラシ等を用い凹凸部分に追従させます。
特に端部は念入りに圧着します。
- ⑦目地等への圧着はプラスチックスキージを上から押し付けるように動かします。
フィルムの追従性が足りない場合はヒートガン等を使用し、加熱圧着をします。

■製品構造



■施工方法(左記の④～⑦に該当)



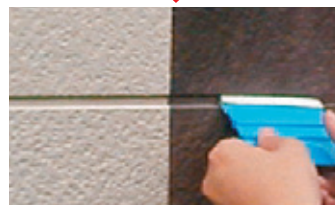
位置決め後スキージもしくはリベットブラシで仮圧着をします。



アプリケーションテープをはがします。



リベットブラシ等を用い、凹凸部分に追従させます。特に端部は念入りに圧着します。



目地等への圧着はプラスチックスキージを上から押し付けるように動かします。
フィルムの追従性が足りない場合は、ヒートガン等を使用し加熱圧着をします。



※離島・至急便は除きます。



ベースフィルム

商品コード	タイプ	接着力	サイズ	製品厚み	紙管
PF000-20	白/パーマメントタイプ	約14N/25mm	1,270mm幅×20m巻	90μ	3
PF001C-20	白/再剥離エア抜けタイプ	約12N/25mm		80μ	

試験方法 ●フィルム厚: JIS K7130 に準ずる ●接着力: JIS Z0237 に準ずる ●特性における数値は、原則として温度 20℃、湿度 65%での試験結果を基にしています。

※再剥離タイプは、下地により性能が異なります。タイルなど、平滑面への再剥離性能は有しません。

※再剥離性能に関しては、貼り付け基材の状態、環境状態によっては再剥離出来ない場合があります。事前のテスト施工をお勧めします。

※離島・至急便は除きます。



ラミネートフィルム(専用アプリ付き)

商品コード	タイプ	サイズ	製品厚み	紙管
PF900AP-20	高光沢	1,270mm幅×20m巻	80μ	3
PF901AP-20	低光沢		90μ	

試験方法 ●フィルム厚: JIS K7130 に準ずる

■グラフィックスの特性

グラフィックスの仕様	印刷方式	貼り付け温度	使用可能温度	耐 候 性	再 剥 離 性
PF000/PF900AP or PF901AP	溶剤インクジェット	10~38℃	-30~80℃	約3年	無し
PF001C/PF900AP or PF901AP				約1年	約1年

※ラミネートフィルムのアプリケーションフィルムを剥がした状態での評価です。

※施工方法や使用環境により、この値より短くなる場合があります。

※耐候性については、フィルムの耐候性について、日本国内の標準的な環境下で屋外垂直サインに施工した場合の予想耐候性で、インクの耐候性ではありません。

※本カタログ記載事項、技術上の資料、推奨事項等は、全て実験値に基づいたものであり、その正確性もしくは完全性について保証するものではありません。